

ICT 通信 11 月号



だいぶ冷え込むようになってきましたね。

そろそろインフルエンザが流行し始める時期に突入します。

当院では今月より職員、職員家族へのインフルエンザワクチン接種を開始しました。

そこで今回は、以前出席した勉強会で得たインフルエンザに関する情報を皆様へお届けいたします。

まずインフルエンザワクチンについて。

インフルエンザワクチンは卵アレルギーの人は接種できない、妊婦さんは接種してはいけない、と思っている方いらっしゃいませんか？

これは間違いです。

卵アレルギーのある方でも、スクランブルエッグなど調理した卵は食べられる、卵を含む料理を食べた後に出る症状がじん麻疹のみ、といった重症でない卵アレルギーの方は接種可能です。

(詳しくはお医者さんに相談を。)

また、妊婦さんがインフルエンザに感染すると重症化しやすく、死亡率も高いため、むしろ接種は推奨されます。

妊婦さんのうちにワクチンを接種することで、お母さんにできたインフルエンザウイルスへの抗体がお腹の中にいる赤ちゃんに移行し、生まれてきた赤ちゃんも守ってあげることができます。

次に感染経路について。

インフルエンザは飛沫感染です。

例えば、バスツアーの車内でインフルエンザに感染している人と 2 メートル未満の距離で 2 分以上会話をした場合、約半数の人がインフルエンザに感染すると言われています。

しかし、会話をせず感染している人とお菓子を交換しただけの場合、車内の換気が良好であればインフルエンザには感染しません。

換気の大切さを実感しますね。

手洗い・うがい・換気でしっかり予防して、この冬を乗り切りましょう！！



担当：薬剤科